

授業科目名	倒産処理法Ⅰ	期別	前期	授業形態	講義
担当者名	雨宮 啓	単位数	2	開講年次	2

授業科目の概要

本講義では、債務者が倒産した場合の法的処理手続のうち、債務者清算手続の中心である破産手続を対象とするが、適宜民事再生手続などについても言及する。債務者が経済的に破綻した場合には、それに伴う混乱を避けるために、破産手続が定められている。この手続は、債務者の債務をその責任財産で清算することを中心とする裁判上の手続であるが、性質上、債権者債務者間の実体権の変更と様々な集団的手続処理を伴う。これらの全体について講義し討論する。

到達目標

- ・債務者が破産した場合に用いられる破産手続の基本的考え方を十分に理解し、その手続にも習熟する。
- ・債務者の破産に関して生じる実体的・手続的諸問題について十分な理解を得る。

成績評価基準および方法

（基準）清算型倒産処理法制に対する理解度を中心としつつ、可及的な範囲で倒産処理法全般の理解度や関連他科目との関連性の理解度も加味して評価するものとする。

（方法）定期試験（80％）および平常点（20％）で評価する。平常点は、レポート・授業での発言等による。

テキストおよび参考文献

（開講前の購入時に、より最新版があれば、そちらに変更）

【必携】1 ア 各回の冒頭で配布する次回分の授業通信（レジュメ付き）、イ アに記載された判決等を各自でダウンロード等したもの、ウ 伊藤眞・松下淳一『倒産判例百選〔第5版〕』有斐閣、2013年、本体2,400円 ISBN978-4-641-11516-3

2 次の文献のうち、いずれか1冊…ア 伊藤眞『破産法・民事再生法〔第4版〕』有斐閣、2018年、本体8,300円、ISBN978-4-641-13744-8、イ 山本和彦外4名『倒産法概説〔第2版補訂版〕』弘文堂、2015年、本体4,500円、ISBN978-4-335-35610-0、ウ 藤田広美『破産・再生』弘文堂、2012年、本体3,800円、ISBN978-4-335-35527-1

【任意】上述【必携】の2で各自が選択しなかったもの

履修上の留意点、準備学習等（事前・事後学習）

（留意点）民事訴訟法および民法（とりわけ担保法）に関する基礎知識を有することを前提とした講義進行予定であるので、毎回、関連箇所について、十分な復習（ないし予習）をして授業に臨んで頂きたい。

（準備学習）

事前：【必携】1のレジュメや判決等を通読し、疑問点を抽出。課題があればレポートを作成し提出。これらの際、手持ちの【必携】2教材の関連範囲を通読。（以上、2～3時間程度）

事後：授業内容を想起。授業で事前の疑問点が解消されたか確認。不明点は、必要等に応じ【任意】の文献等で調査。（以上、1～2時間程度）

授業計画および内容等

第1回	倒産処理制度の概要その1	・倒産の意義 ・倒産処理制度の必要性
第2回	倒産処理制度の概要その2	・倒産処理制度の歴史 ・倒産処理手続の種類
第3回	破産手続総論 企業破産その1	・破産手続の意義と概要 ・手続の開始（支払不能、支払停止、債務超過、破産障害事由、同時処分、付随処分など）

第4回	企業破産その2	• 手続の機関（破産裁判所、破産管財人、債権者集会、債権者委員会など）
第5回	企業破産その3	• 破産財団（法定財団、現有財団、配当財団、破産管財人職務の要諦、破産財団の範囲、自由財産） • 破産債権、財団債権
第6回	企業破産その4	• 契約・権利関係その1（破産手続開始後の法律行為等、双方未履行の双務契約など）
第7回	企業破産その5	• 契約・権利関係その2（各種双務契約の個別論、取戻権）
第8回	企業破産その6	• 契約・権利関係その3（別除権、相殺権）
第9回	企業破産その7	• 契約・権利関係その4（否認権）
第10回	企業破産その8	• 手続の進行（破産債権の届出・調査・確定、破産財団の管理・換価）
第11回	企業破産その9 個人破産その1	• 配当（最後配当、簡易配当、同意配当、中間配当、破産手続終結決定、追加配当） • 消費者破産の歴史
第12回	個人破産その2	• 消費者破産の手続その1（同時廃止、免責手続など）
第13回	個人破産その3	• 消費者破産の手続その2（非免責債権、自然債務説・債務消滅説など） • 運用等（復権、指定型・留保型など）
第14回	破産法事例演習	破産法分野における重要判例等を題材に、事例演習を実施し、各自の破産法の理解度を把握する機会ともする。受講者各自は、授業通信の指示に基づき、課題事例に関する検討レポートを作成し質疑応答に備えた準備も行うものとする。
第15回	民事再生制度の特徴	倒産処理法Ⅱへの導入として、破産制度と大きく異なる点に関し、民事再生運用の3タイプ（狭義DIP型・後見型・管理型）を中心に概要を整理しておくものとする。
関連 URL		
備考欄		